

全体会午後の部Ⅱ

司会者 それではただ今より、全体会午後の部Ⅱを行いたいと思います。午後の部Ⅱの司会も担当させていただきます大麻中学校3年のs, 松茂中学校3年のdです。よろしくお願いします。後半も3本の意見発表があります。ここで、本日の日程の変更をお知らせします。16時10分にすべての行事を終わらせたいと思いますので、午後の部Ⅱは、14時15分から15時40分とします。15時45分から閉会行事を行います。すべての人に参加していただきたいので、少し時間を早くします。申し訳ありません。まずは、後半1本目の意見発表です。藍住中学校3年、笹希美さん、「いじめや差別について思うこと」です。よろしくお願いします。



「いじめや差別について思うこと」

藍住中学校 笹 希美

いじめや差別。それは、人権問題の中で私たちの一番身近にあるものだと思います。

以前に友達から「私って死んだ方がいいのかな。」と言われたことがあります。私は、「そんなことないよ。何かあったんなら何でも話してくれていいよ。」と答えました。しかし、「死んだ方がいいのかな。」と何度も繰り返すだけで詳しい内容を話してはくれませんでした。初めは、その問いかけに答えていましたが、だんだんとどう反応したらいいのか分からなくなり、ついに無視をしてしまいました。そのことを他の友達に相談してみる

と「ああ、あの子のそういう所、嫌だな。」と言われ、その子に対する不満を言い合うようになりました。そして、だんだんエスカレートしていき、「あいつはもう嫌。うっとうしいから、はぶこ。」と、ついには仲間外れにしまいました。それから、その子のことを笑ったり、悪口を言ったりしてしまいました。その時は、一緒になって言ってしまったけれど、どうしてあんなことを言ってしまったのだろうと今は思います。不満があるのであれば、直接本人に言えばよかったし、悪口がエスカレートする前に「もうやめよう。」と自分が言い出していればよかったと後悔しています。



昨年の人権問題意見発表会で先輩が、「その人の悪い所を見つけるのではなく、良い所をたくさん見つけることによって、苦手だった人のこともだんだんと好きになっていく。」と言っていました。この言葉は、今でも私の心の中に残っています。

私には、あの子は少し苦手だな、嫌だなとその人のことを何も知らないのに見ただけで判断してしまうことがあります。しかし、その先輩が言っていたことを思い出し、人の良い所を見つけていくことによって、苦手だと思っていた人とも自然に仲良くなることができました。

差別する気持ちは、誰の中にもあると思います。そして、その差別する気持ちを無くすことは簡単なことではありません。しかし、私たち一人ひとりが無くすための努力をしていかなければいけません。差別やいじめは何

気なく発した一言から始まります。一言そしてまた一言と止まらなくなり、相手を傷つけてしまいます。私自身がしていた人を見た目だけで判断することも差別につながる一つの行為です。

差別やいじめを無くすために私がすべきことは、人を見た目だけで判断したり、人から聞いた話だけで判断したりしないことです。また、悪口を言わず、人の良い所をたくさん見つけていくことです。この二つのことをいつも意識して生活すれば、私の中にある差別する気持ちが一つ二つとなくなっていくと思います。

自分がやってしまったこと、言ってしまったことでもう後悔したくありません。だから、周りに流されず、誰かに何かを言われるのではと恐れることなく、差別を止められる人になろうと思います。

司会者 ありがとうございます。どうぞ元の席に戻ってください。続いて、後半2本目の意見発表です。松茂中学校3年、山田綾乃さん、「経験から学んだ私の決意」です。よろしくをお願いします。



「経験から学んだ私の決意」

松茂中学校 山田 綾乃

私は、いじめや差別をしてはいけないと思います。何故かという、私もいじめや差別を受けたことがあるからです。幼かった頃の私は、いじめや差別のことなどまだわかりませんでした。小学校に入学して数ヶ月がたったある日のことでした。その日は、学校で行

事があり、地域の方々も来て、とても楽しく、とても賑やかでした。行事も終わりが来て、「もうすぐ終わるので生徒のみなさんは、各学年の教室に戻ってください。」という放送が流れたので私は、自分のクラスに戻りました。教室に入って自分の席に着いたとき、私は目を疑いました。自分の机に悪口が書かれていたのです。誰がやったのかは、まったく分かりませんでした。とても嫌な気持ちになりました。自分で消しゴムで消したけど、赤で書かれていた字は消えませんでした。先生に言ってみんなで話し合ったけど、誰が書いたのかは分かりませんでした。

次の日には、先生が消してくれて机は、きれいになっていました。でも、その1年は、ずっと嫌な気持ちで過ごしました。この出来事は、小学校1年生で起こったことですが、今もその時のすべてを覚えているくらいとてもつらい出来事です。

先生に支えられて乗り越えることができましたが、何でこんな事をされたのか、今でも理由が分かりません。「何で私が?」「こんなことをやって楽しいのか?」と怒りがこみ上げてきたけれど、もしかしたら、自分が悪かったのかもと思って変われるように努力しました。でもそれが、逆効果だったこともありました。

今、私がつらい思いをする人をなくしていくためにできることは、自分がいじめや差別を絶対にしないことです。何故かというとそのつらさを私は知っているからです。もし、近くの人がいじめや差別をしていたら止めます。そしてみんなでしないように話し合っていきます。

もしもこれから、つらい思いをしている人にあったら、相談にのったり、協力したりして、私が先生に支えられたように、支えてあげられる友達関係をつくっていきたいです。

司会者 ありがとうございます。どうぞ元の

席に戻ってください。続いて、後半3本目の意見発表です。瀬戸中学校3年、大川未夏さん、「自分自身を成長させるために」です。よろしくお願いします。



「自分自身を成長させるために」

瀬戸中学校 大川 未夏

「意図的に友達を一人にしていじめたのは、大川さんだね。よく考えてみて。」

以前、先生から突然言われ、頭の中が一瞬にして真っ白になりました。私には、友達をいじめたという意識がなかったので、何度も「いじめていない」と伝えましたが、信じてもらえませんでした。自分のことを本当に理解してくれていると信じていたし、一番尊敬している大好きな先生だったので、とてもショックでした。先生のことを信用できなくなり、友達からも私がいじめをしたと見られるようになってしまいました。学校に行ってもみんなが私のことをそういう目でみていると感じるようになり、教室では一人であることが多くなりました。次第に私自身「本当にいじめてしまったのではないか」とも思うようにさえなりました。その後は、何もする気がおこらず、授業中も何もしない日々が続きました。

今もこの出来事は、私の心の中で解決できずにいます。私の今の気持ちを誰かに聞いてほしくて今回読む機会をいただきました。ただ、この作文は、当時の先生への批判や怒りを伝えたいのではありません。その出来事によって、自分自身のことについて深く考えるようになったということをお伝えしたかったので

す。

今思うと、当時、私にはいじめたという意識はありませんでしたが、もしかしたら私の言葉や態度が相手の子にとってはいじめと感じさせたのかもしれない。自分の思ったことをそのまま言葉にすることによって、誤解が生じたり、いつの間にか人を傷つけたりすることがあるからです。また、信じてもらえなかった悔しさを先生に対する無視や反抗という形で表現することもありました。でもそれは、私の心の成長を止めてしまう行動だったと思うようになりました。当時は、周りの人が信じられず、自分一人だと思っていましたが、私には、心配してくれる両親や先生がいました。そのおかげで学校を休まず行くことができたのだということにも気づかされました。そして、今、私の周りには、私を信用してくれる先生や友達がいます。悩みや心配事を真剣に聞いてくれます。私もその人たちを信じています。

みなさんは、私のような経験をしたことはありませんか。



私はこの経験から、2つのことを心に決めました。一つは、相手に対し、思いやりのある言葉や行動をとり、友達を大切すること。二つめは、私自身が信頼される人になるために努力することです。これからも素晴らしい出会いがいっぱいあると思うので、1つ1つの出会いを大切にして、頑張っていこうと思います。

司会者 ありがとうございます。どうぞ元の

席に戻ってください。それでは、これから意見発表を通しての討議にうつりたいと思います。発表についての感想や意見交換、参会者のみなさんの思いを語っていただければと思います。また、前半で発言しきれない人や、付け加えるような内容のある人は、これが最後のチャンスとなりますので、ぜひ発表してください。なお、記録の関係上、発表者は学校名、学年、名前を言ってから発表してください。それでは、よろしくお願いします。



城ノ内中学校 1年 p 「いじめや差別について思うこと」の感想で、その人の見た目とか人に聞いたことじゃなくて、その人を信じるみたいな内容のところ、やっぱり人を見たとかわさで判断したりせずに自分自身でその人を見て、しっかり信じる事ができたらいいなと思いました。

屋島中学校 3年 a o 最初の「いじめや差別について思うこと」の発表で、人の悪いところではなく、いいところを見つけるというのを聞いて、ボクも周りの友達のいいところを見つけられるようにして、いじめや差別をしないようにしようと思いました。

城ノ内中学校 1年 a p ボクは、差別は人の表面的な部分を見ることによって、ほとんど起こっているなと思いました。だから、こういう人権を語り合う中学生交流集会などの場に積極的にたくさんの人が参加するようになれば、だんだん差別はなくなっていくと思いました。



和光中学校 3年 a q 私たちは、保育園や幼稚園からずっと一緒に、仲が良すぎるあまりに、教室でついついふざけて、人を傷つけるような言葉を言ってしまうことがあって、そういうちょっとした言葉で、いじめや差別が生まれるかもしれないので、そういうことに気をつけて生活していきたいです。

城ノ内中学校 1年 u 私は、幼稚園と保育所と小学2・3年生くらいの時に、よくいじめとか無視をされたりしていました。今でもそのことを思うと、とても心が苦しくなるし、なんか泣きそうになるというか、そうなるんですけど。今自分で振り返ってみると、1年生の時に私は教室の隅っこにいるような存在だったので、みんなが自分より高い位置で、自分は下と思って、手が届かないというか、もう自分は従わなくてはダメとか、そういう表面的なことで、「もうこの子とは関わらない」「あの子と一緒にいる」とか、そんなんで決めてたんですけど、みんなのことを知ってというか、その知る努力が必要だと思います。

和光中学校 3年 a l さっきの発表を聞いて、ボクも引っ越し先でいじめられた経験があったので、共感しました。今までずっとへらへらするとか、いじめに対して逃げてきたんですけど、逃げとったらずっといじめが続くといろんな人から教えてもらったので、もしいじめられてる人がいたら教えてあげたいです。

屋島中学校 3年 ar 実際にいじめられたりした人の話を聞いて、いじめはあったらいけないし、もしあったときは、いじめられた子を助けられたらいいなと思いました。

藍住中学校 3年 c 質問というか、ふっと思ったことなんですけど、いじめとふざけの違いがボクの中では、はっきりとわかってないので、わかる人がいれば答えてくれるとありがたいです。お願いします。

城ノ内中学校 1年 p いじめとふざけの違いは、いじめは、いじめられた本人が嫌だとか、悲しい気持ちになって、これはいじめだと感じたら、いじているほうがふざけだと思っても、それはいじめだと思いません。ふざけは、ふざけられている側もふざけている側も楽しくて、悲しいと思う人が誰もいなかったら、それは楽しいふざけだと思えます。



大麻中学校 3年 ag ボクが1年の時に引越してその中学校に行って、ぼくもいじめられて、先生に言ったんですけど、先生にも無視とかされたので、そんなのがトラウマになって、今の学校に転校したので、今いじめられている人は、その心がたぶんボクにはわかると思います。

松茂中学校 3年 f 山田さんの「経験から学んだ私の決意」を聞いて、すごい自分がつらい体験をして、それをまた周りの人が自分

と似たような体験をしたときに助けようという思いがすごくいいと思いました。いじめとはちょっと違うと思うんですけど、友達と3人有的时候きに、他の2人の友達が私の知らない話題で盛り上がって話してて、それで私が入れなくて、ちょっと「嫌やなあ」と思ったときがあったんです。私が「嫌やなあ」と思ったことを今度3人有的时候きに私も他の子に「つらいなあ」と思う気持ちをさせたくないなと思いました。



城ノ内中学校 1年 v 私の学校で少し前に人権の学習で「いじりといじめ」というのを学んで、いじりは一つ間違ったらいじめになると言っていました。私の経験で、まあけっこう前なんですけど、友達と話してたら、友達がふざけて、「vちゃん、気持ち悪い」とか言われたんです。私はへらへらして笑い飛ばしたんですけど、実際はちょっと傷ついて、やっぱりふざけていても、相手がどう思うか、一つ一つ言葉を選んでから言ったらいいと思います。

城ノ内中学校 1年 t 今回の話題を3つまとめると、こういういじめや差別は、相手のことをしっかり考えたら、なくなると思うので、私の関わっている人のことをもっと知って、いじめや差別がなくなるように努力したいです。

屋島中学校 3年 as ボクは気づかぬうちにいじめや差別をしてたんじゃないかなって思うことがいろいろあります。なので今回の

人権を語り合う中学生交流集会に参加して思ったのが、いじめはやっぱりダメなんだなと思いました。これからはそんなことがないように気をつけていきたいです。



城ノ内中学校 1年 u 私はみなさんの意見を聞いて思ったことがあります。いじめをなくすというか、近くで自分の友達がいじめられていたら、その人を助けることや「止めよ」と言うことは、けっこう力があるっていうか、がんばらなダメなことで、身近なことのできることが必要だと思います。例えば、私が小6のときにいじめられていた子がいたんですけど、そのときに私がいる友達のグループに入れて、一緒に遊んだり話したりして、友達がいることのうれしさや楽しさとか、自分は大くさんの人から支えられていることを相手が思ってくれるだけでも、だいぶいじめとかなくなると思います。

松茂中学校 3年 a 大川さんの作文を聞いて思ったこと、感想みたいなものなんですけど。私も小学校の時に階段から落下したみたいな事件があったんです。その時、近くに私がいて、それで私が突き飛ばしたんじゃないかって疑われて、実際私はそんなことはしていない、ですけど。先生からも呼ばれて、「やったの？」と聞かれて、最初は「あなたが犯人なのか」と聞かれていると思っていただけ、話を聞いているうちに「ちゃうな」と思った。「あなたが犯人なのか」じゃなくて「あなたが犯人でしょ。どんだけごまかしても無理だから、観念してさっさと自白してしまいなさい」みたいな。そんな感じなんだろうなと思って、その空気感に耐えられなくて、結局「じゃあやりました」ってことにしちゃった。その先生はわりかし好きな先生だったんですね。だから最初はその先生に「疑われたくないな。嫌だ嫌だ」と思って、途中から「もうこの人は私を信じてはいないんだな」と思った。私が認めてしまったんで、クラスでどこからかそんな話は漏れるじゃないですか、「あの子はやったんだ」ってふうにされて、ちょっといろいろ言われたこともあった。その時に、「これから絶対信頼することができんな」と思った子もいるし、その先生も最初大好きだったはずなんですけど、この先生はもう私を信じないし、なんか「いいわ」って、いうふうになった。私は周りの人を憎むしかなかったんですね。恨んで、「この人はどうせ信じない」「この人も信じない」ってやってて、そんなふうにならずにずっと思ってたんですけど。大

和光中学校 3年 a t 保育所から仲が良くって、私は相手にノリで、相手が傷つくかもしれないのに、大丈夫だと思って、言葉を発してしまうことがあります。これからは気をつけようこの会で思いました。

松茂中学校 1年 a c ボクは、いじめを受けたり、いじめをしたりしてきましたが、この発表を聞いて、これからはいじめをしていないか気をつけて行動したいなと思いました。

屋島中学校 3年 a u いじめや差別は一度始まるとどんどんエスカレートしていってしまうと思うので、それを止められる人が大事だと思います。

松茂中学校 1年 a b さっきの作文を聞いて、今後は、いじめをしている人に注意をしていきたいなと思いました。

川さんは自分がそう恨んでないって言ったじゃないですか。あれがすごいなって思って、私は恨むしかできなかったのに、大川さんはさらに一歩前に行って、もう恨んでないって言えるようになったって、すごいと思いました。私もそう言えるようになったらなって、思いました。



パネリスト j c君の質問にあった、「いじりといじめ」、「おふざけ」か「いじり」の話にしていい？ ボクが中学生の時に1・2年でお世話になった先生、けっこう好きだった先生だって、その先生の口癖が「いじりはいじめじゃ。大差ない、変わらん、いっしょ」で。結局、しようことは、その子を陥れるためにしよる行為であって、変わらんのやな。傷つけようし、誰か言よったけど、「いじめはいじめられよう側が思ったらいじめじゃ」って、それも一理あると思うんよな。結局、受け取る側が「どう感じるか」やし、第三者が見て、「それはやりすぎじゃ。おふざけの域を過ぎとる」と思ったら、「完全にいじめじゃな」と思うし、ほれをぎりぎりまで見よんじゃなくて「止めろよ」と、「止めれる立場になろうよ」と言いたいです。それと発表の一番目に友達が死にたいって、ボクも実際の話、友達に言われたことがありました。「死にたい。もう、つらいけん。どうしたらいいんだろう」「そなん俺に言われたって知るかよ」って思うやん。実際、そなん言われたって、ねえ、友達やけん、大切にしたいけど、どうしらいいか、わからんやん。で、親身になって、「やっぱり、もうちょつと一緒

におりたい」とか「友達としてせっかく出会えたんやけん、まあ、がんばっていこうよ」っていうふうにして、その友達はそんなこと言わんようになったんやけどね。本気で死のうと思う人とそうじゃない人って、差があるんですよ。実際、本気で死のうと思う人は、何の連絡も相談もしないことがあるそうです。ボクの知り合い人の話なんやけど、その人の身近な人が自殺未遂をしたんやって。何の連絡もなく、突然、急にしたって。命は助かったので良かったって言ってたけど、前に相談も何もなかったって。友達に「死にたい。」って言ようということは、何らかのサインなんですよ。その友達を信用しとるけん、言よんよ。逆に思ったら、信用してくれとんけん、言ってくれたって、で、ちゃんと受け止めてあげて、OK？ そうやってしたら、ほんまに心からの友達もできるよ。自分が困ったときも助けてくれる人になるけん、その人が。もう、みんなうわべだけで、「次からは、こうしたらいいです」みたいなこと言よるけど、次からじゃなくて、今からと思って。勉強と一緒に。先生言うだろ。「次からじゃなく今からしなきゃ、ダメだろ。点も伸びませんよ」言うやん。それと一緒に。友達関係やって、今からじゃないと、うまいこといかんのよ。次から次からにしよったら、何事もうまいかんのよ。今からしよ。

パネリスト i jの言ってることにいろいろかぶる部分もあるんやけど、さっきの「死にたい、どうこう」って話にも、「死にたい」って口にしよる間は、まだ助けられるんよ。「死にたい」って言ようってことは、まだ行動には出てないんやけん。行動に出てしまったら、もう終わらなわけで、だから、発言をしよるうちにみんなが助けようってしていかなあかんと思うんよ。自分もそうやって気が沈んだら思うこともあるし、あつたな、そういうこともある。話を聞いてくれる人がおる

だけで、けっこう前向きになれることってあると思わん？ほなけん、そういう友達がおるって、すごくいいことやし、そういう友達がおるおかげで、私もこうやって今この会に参加してしゃべることできるし、信頼できる友達がおるって大事だと思うんよ。で、あとc君の質問なんだけど、「おふざけといじめの違い」みたいな。さっきも何人か言ってくれたように、本人がいじめと思ったら、それはいじめっていうけど、私もそう思うんよ。ただ、jの言ったことにかぶってくるけど、それって本人がいじめと認めん限り、いじめにはならんよな。そういう考え方になったら。で、自分の話をするけど、うちの学校って小中学校ともずっとメンバーが変わらずで、ほぼほぼ。城ノ内みたいな学校に行ったら別やけど、ほぼほぼメンバーが変わらず小1から中3まで上がって行って、つきあいが長い分、それぞれのポジショニングができてきたり、グループができて、クラスも変わらんけん、ずっと一緒に。そんな中でいじられるポジションの子もあって、いじられキャラっていうのもでてくるんやけど、私はいじられっ子で、そういう感じで、変なあだ名をつけられたり、なんかいろいろあったりもした。1回、小6の時、授業が終わった後の休み時間に、男友達が私のところに来て、机の上の筆箱を取って、教室をだぁーと出て行ったんよ。「あいつ、何をする気なんだろうな」と思って、「ゴミ箱にでも捨てに行くんかな」って、追いかけたら男子トイレに入ったんで、「ん？」って見よったら、奥に和式トイレがあって、ガッて振り回してポチャとトイレに投げて、「あほなことしよるな」って。そして、流したんかな。で、びしょびしょになった筆箱を取って戻ってきて、筆箱のチャックを開けてそこに蛇口を突っ込んで水を入れた。使いよったんが水を通さんタイプの筆箱だって、その時私はパニックになって、判断ができん状態だって、中に水が入ったまま。「自分の筆

箱やけん、持って帰らな」と思って、そのまま教室の自分の机にバァーと置いた。そして、



「中はどうなつとんやろ」とチャックを開けたわけよ。チャックを開けた瞬間、水がぱつと出てきて、まあ、筆箱から水が出てきたら、みんな騒ぐよな。いっぱい集まってきて、「どしたん、どしたん」「えっ、いけるん？」って、クラスの子が外へ持って行って、中身を全部乾かしてくれた。自分はなんてあほだったんだって。中の水を全部トイレの手洗い場で捨てて、教室に戻っていたら何事もなくすんだのに、大騒ぎになって。その後担任の先生に呼び出されて、「なんでこんなことになったん？」いろいろ聞かれて、で、二人おふざけの延長かなって感じで話しよって、「次からはこんなことないように」と言われた。私、それいじめと思ってない、普段のノリでもメッチャいじられようけん、「その延長線上で行き過ぎたかな」「周りを巻き込みすぎたかな」っていうのがあるけど。「いじめとまでは思ってないやけどな」と。確かに今までされてきたことは、行き過ぎたことはあったけど、もしかしたら「自分が認めたくない」ってことがあったかもしれん。つきあいが長いけん、「いじめをするひどい人間じゃない」っていうのもあったかもしれんし。その時は自分がいじめと思ってないから、先生に「なんで貴重な休み時間をこんな話のために取られなあかんの」と、そこにいらいらしてた。私は「いじり」だと思っとったし、そのことに関しては特に何とも思ってなかったけど、人によったら、ほんの些細なことでも、いじ

めと思う子っておると思うんよ。すごい繊細な子だったら。だから本人がどう思うとかじゃなくて、周りが見たときに、「これは、あかん」と思ったら、口出しができるっていうか、止めることと云ったら、本人はいじりやって、いじめと認めんかぎり、うまいこと止めれんかもしれんけど、でも、そういう子って、近くに誰かがおることで、けっこう救いになるんよ。私の時もそうだったし、まあ、私の場合はいろんな要因があって、いじめっぽいポジションになることが多かったんだけど、私ってなんかすごい自分をマイナスに見るところがあって、「自分なんてどうせ必要とされてない」し、とそういうのもあって、自分から働きかけることをいろいろしよったんよ。小学生の時から人がやりたがらん仕事をしよったら、「あっ、これこいつにやってもらったらええやん」って、それだけ存在価値じゃないけど、必要とされるから、それを求めているしよった。自分もそうやっていろいろすることがきらいじゃなかったし、やいよったんやけど、ただ自分の考えが真っ直ぐすぎたところもあった。例えば、学校にお菓子や携帯を持ってくる子を見つけたときに「先生に言う」みたいな。「だってこれ悪いことやん」「この子は許されて、この子は許されん」ってあったら、おかしいと思って、先生に報告しよったんやけど、なんか「偽善者や」みたいな、「こいつにばれたら、どうたらこうたら」って、「どうせ先生によく見られたいんだろう」って、いろいろ言われた。間違っていないかもしれん、「先生によく見られたい」って。でも私は「先生によく見られたい」というよりも「みんなに必要とされたいな」と。だってこの限られた人数の中で目立つ子って一部やし、その中で「この子いらん」って思われとう子だって、もしかしたらおるかもしれん。「自分におってほしい」と思ってくれる子が欲しいな。といろいろしよったけど、結局はたたかれるだけの存在み

たいな、みんなのストレスのはけ口とか、なんか悪いことがあったら全部私のせいにされる。ただ私の場合は、キャラクター的にへらへらしようけん、何言われてもそんな深くとめん、病んだりはするけど、それでもめっちゃ追い詰めて、どうこうというまではたぶんいってないと思うんよ。自分ではわかっとうけん。周りから見たら、そこまでいっとなかもしれんけど。ただ自分と同じような扱いを他の人がした場合に、「どれだけしんどいだろうな」と思う。誰かが近くにおるだけで、そうしんどさって軽減されることもあるし。あと、私は固定の友達ってあんまりおらんかったけん、たいていの人はいつもつるんどる子がおると思うんやけど、そういう子がおらんかったから、標的にされやすかったと思うし、一人になったとき、いろいろ考え込んでしまうっていうのもあったし。だから、友達ってけっこう大事やし、おることによって救われることってあると思うから、「なんか、このいじりとか行き過ぎてない」って思ったときには、止めることまではできんでも、積極的に絡みにいくことって、大事やから、そういうことができるようになってほしいなと思います。



松茂中学校 教員 午前中の冒頭に吉成さんから話があったように、今回は 23 回目の大会ですが、第 1 回大会はこの会場でした。当時は名前が違うんです。「部落解放中学生集会」という部落差別をなくす会だったんです。集まった仲間というのは、当時はいわゆる同和対象地区に学習会があって、学習会に

参加していた同和対象地区の生徒が、ここに多いときには200人が集まって、部落問題について話していく会でした。そういう流れを大事にしながら2002年に法律が切れて、そういう取組が、学校の授業でなされなくなりました。でも、2016年に『部落差別解消推進法』という法律ができた。それは、すべての人が部落差別をなくすために取り組むとなっている。そういう流れの中で、3年前に第1回の実行委員長で、差別をなくすという部落の仲間と、第20回の実行委員長のkさんとの話し合いを、その集会でもちました。私たちは願いがあったんです。利害がからんだら、部落差別は姿を見せます。LGBT+のことが午前、午後とここで深く議論され、本当にすごい作文がここで発表され、そのことを初めて知った子と初めて考えたっていう子がいると思うけど、部落問題もなかなか語れないという現実があって、その本心を語り合うというのがなかなかできなかった。段階を追って、LGBT+もだんだん認識が広がって行って、本当に問題解決の方向に向かっていきますよね。もっともっとみんなに学んでほしいし、知ってほしいし、まず知ることです。現実を知ることです。歴史に学ぶってことを繰り返し語ってくれたけど、みなさん自身が学び続けていくってことです。実際に本当に、思いを語り合うという場で、自分の問題として語り合うことができたらいいなと強く思います。みなさん自身のいじめの体験であったり、家族の中でせつない、友達の中でせつないという、自分自身の思いを語り合う中でみんながつながって行って、人権学習がみんなの喜びになってほしいと思います。決意表明、ここで発表するってことが精一杯という子もいると思うけど、自分のことを自分の言葉で言い合える、語り合える、繰り返し繰り返しkさんが語ってくれる事実というか体験というか、その思いが心に染みわたってきます。そういう語り合いが広がっていったらと思います。

す。あと15分くらい、多くの人がマイクを握って、自分の言葉で自分のことをさらけ出していく。それをみんなが必死に聞いて、それに返していく。そんな語り合いが広がっていったらと思います。つながってほしいと思います。がんばって、つなげて返してください。



大麻中学校 3年 s いじめのことについてなんですけど、いじめるってことは、他者をうらやむ気持ちとか、偏見とかがあって、いじめられていた人がいじめるというのは、ゆがんだ正義感からくると思うんですけど。いじている側の人の心は、すごく弱いんだと思います。なぜなら、いじめをしない人はちゃんと自分をもっているし、人のことを悪く言う考えにはつながらないと思うし、やっぱりストレスとかもっている人がいじめをしてしまったり、気づかない間に友達を傷つけてしまっているのではないかと思います。



藍住中学校 教員 自殺の話が出てきましたが、私の大学のときの同級生が、いわゆる失恋がきっかけで命を絶ちました。ついさっきまでおった人間が突然いなくなる。つい3日前に一緒に銭湯に行った人間が、私が「おま

えまだ立ち直れていないのか」って聞いたとき、湯船の中で「まだなんよ」って言った人間がいなくなる。喪失感というか、心の中にぽっかりと穴が開いたような気持ちを今、思い出しました。あのとき、別の言葉をかけたらと思うこと、後から、そのことが起こってからはよくあるんよね。けども、後からなんぼ思ったとしても、もうそれは取り返しはつかない。そのとき自分がどうしたらよかったのかなって思うことは当然あるんやけども、そこで自分が何かできるといえばなかったと思うんで。ほんまに言えることは、人の命っていうのは、何かちょっとしたことでなくなってしまうということ。何かしらの関わりというのはできたと思うので、今、目の前におる人との関わりを、ほんまに簡単に言ったら大事にしていくとか、大切にしていくなとか、そんなことからやっていくしかないかなって思ってます。みなさんの意見を聞いて、こんなことしか返せないんですけど、つなげてくれる人がいたら、どんどんつなげていってほしいと思います。



土庄中学校 3年 r 前に幼稚園からの知り合いの、すごく仲のいい後輩から、部活を引退したあとに練習をのぞきに行ったら、「あれ、引退したんじゃないんですか」みたいなことを言われて。そのことを生活記録に書いたら先生から「それっていじめじゃないん？」って言われたので、自分と親しい間柄では通っても、他の人からはきつい言葉なんかになって思いました。

屋島中学校 教員 森口先生とは、ずっと昔からつながりをもっていて、森口先生がこういう思いを語るという授業をされていて、ぼくもまねさせていただいているんですけど。屋島中学校でも思いを語る、本音を語る友達づくりをしようとしています。先ほどの高校生の話の中にもあったんですけど、ぼくも教え子が5年前ぐらいに突然亡くなって、当時その子は33歳だったんですけど、中学生の頃は本当に明るくて、明るくさせる、みんなから愛される男の子だったんです。その子と仲のいい子がおって、ぼくもその子らと飲んだりしていたんですけど、そしたら突然朝メールが。その仲のいい子から「実は自殺したんや」っていう連絡をもらって。お葬式では、本当にもっと何かできたんとちゃうかなって思いました。今ぼくが心がけているのは、何でも言える、辛いこととか言える友達関係をつくっていきたいということで、何を言っても受け止めてくれる友達づくりを、絶対に中学校のときにしたいなと思って、本音を語る思いを語るという取組を、今やっています。中学生交流集会というのは、本当に続けていくことが大切やと思うし、高校生の方が言われているように、一生の友達というのを、ぜひみなさんはつくっていただきたいと思っています。

土庄中学校 3年 av 人間一人やったら不安やったりさびしくなったりするので、できるだけ一人をつくらないようにしていきたいです。

八万中学校 2年 ah ボクが小5ぐらいのとき、テストが終わって、昼休みに外で遊んだあとに教室に帰ってきたら、何か雑草とか机に置かれていて、誰が置いたんやろってベランダから捨てました。それから休み時間が終わるたびに机の上に何か置かれていて、いじめかと思って先生に相談しても相手にし

てくれなくて。ちょっと悲しかった思い出は、心に刻み込まれる感じです。やった人とは友達縁を切って解決はしたんですけど、それがまた中1で起こって。いじめは本当に怖いなと思いました。



土庄中学校 3年 a w 今日ここで学んで、当たり前友達じゃなくて、もっと友達を大切に、もっと楽しい人生を送っていきなうと思いました。

城ノ内中学校 1年 u ちょっと話がずれるんですけど、私のいた小学校では、夏休みに陸上部の子たちが帰りのときに、「死んでほしい人ランキング」みたいなものをつくったそうです。それは、ちょっとだけのふざけとかだったんですけど、その周りにいた子たちがそれをみんなに広めて。私はその場にいなかったんですけど、男子とかはけっこうみんなが知ってて。そのときに、死んでほしいとか言った人を注意したらよかったのに、それを周りの人に言うとか、言った人は自分がいじめているとか気づいてないけど、違う人から考えたら、ランキングで3位とかに選ばれた人にそのことを言うのは、おせっかいとかかひどいと思う。立ち止まるというか、相手はどう思うのかなと考えて、ちょっと立ち止まってから行動すべきだと思います。

松茂中学校 1年 a e ボクが3年生のとき、いろんな人から陰湿ないじめ受けていて、水筒に鼻くそをつけられたり、机に変なものがかかれていたり、精神的に辛い状況でし

た。そのときに本当に死のうと思って、首つり自殺を図ったことがありました。そのときはお母さんに止められて、今生きている状況ですけど。そういうことがあって、そういう状況を引きずっているところがあって、5年生、6年生、中学生になってもいじめが知らないところで続いていたり、自分が知らないだけで何か言われているところがあって、本当にいやだと思いました。ここの人権を語り合う中学生交流集会で、いろんな作文を聞いて、ボクは、友達に助けを求めることも大事だと思いました。

城ノ内中学校 1年 p さっきuさんが、死んでほしい人ランキングで3位の人にその子とを言うのはおせっかいみたいなことを言って、確かにそうだと思うんですけど、自分の知らないところでこそこそそういうことをされるのも、ちょっといい気持ちはしないので、やっぱり、uさんの言うことも一理あると思うんですよ。そういうときってみなさんは、どうしたらいいと思いますか。

和光中学校 3年 a l ボクは、今もそうなんですけど、もともと住んどった出身地とか、引っ越し先で住んどった土地でいじられた、いじめられたときがあって、そういうのはいけないなと思いました。

城ノ内中学校 1年 v pさんの質問で、やっぱり注意することが大切だと思うけど、私はちょっとそういう勇気がないので、注意することも大切だけど、周りの人とかに、大人の方とか先生とかに助けを求めることが大切だと思います。この集会で私は、命の重さというか尊さを学びました。私も、実際人の命が消えるという経験があったんですけど、やっぱり、せつかくお母さんが産んでくれているので、私は毎日の1秒1秒をかみしめて生きていきたいと思いました。

城ノ内中学校 教員 今日はいろんな意見を聞かせてもらって、ありがとうございました。LGBT+の話が午前中にたくさんあって、気持ち悪いと思う人がおるかもしれんとか、自分がいろんな価値観の中で共有できないこと、外国の方との出会いとかあると思うんです。特にこれからみんなは、そういう人たちと、同性の人を好きになる人の気持ちを絶対に分かんと思う人もいると思うけど、だれかが言ってくれた中に、否定しないとか、そう思っている人やなと受け止めるとか、たくさんヒントがあったと思う。これからいろんな人と出会うと思うんやけど、シャットダウンせずに、そう思っとなやなということから始めて、なかなか共感まではいかんのやけど、みんなが自分の苦手な人とか、共感できんなという部分があっても、そういう子ともいいつきあい方ができると思う。今日たくさんヒントがあったと思うので、何か一つ、これからのつながり方に、何かのヒントにしてくれたらと思うし、ぼくも苦手な人とか、ちょっと違うと思う人とも、どないかしてうまくつき合っていけたらなということを感じました。

松茂中学校 3年 y 今日、いろんな人の体験談なんかを聞いていて、いろいろ辛かっただろうなと思うことをいっぱい聞いて、私が、どれだけ恵まれた環境で育ってきたかということをしみじみと感じたんですけど。私は幸せに生きてこれたので、そういう辛いことがあったとしても、辛かっただろうなと思ったとしても、想像だけで、ちゃんと深いところまでは理解できないと思うんです。でも、それぞれの立場でできることは違うと思うので、私が具体的に何ができるのかと言われたらわからないんですけど、だれかの力になったり、支えてあげたりできたらいいなと思いました。



土庄中学校 教員 この会には5年ぶりに参加させてもらいました。5年前のことを思い出しても、胸が締め付けられるような辛い体験を語ってくれている姿が、記憶に残っておりますし、今回語ってくれた生徒のみなさんの話も、心打たれるものがありました。そして、その話を聞いて、生徒のみなさんが一生懸命感じたことを返す、つながっていく。そうすることで、温かな空気ができあがっていく。5年ぶりに、またすてきな時間を過ごさせてもらったと思っています。その中で毎回感じるんですけど、やっぱり自分自身が人としてどんな感覚をもっているのか。その人権の感覚を自分自身がしっかりと磨いて、子どもたちと一緒に考えることで、学校や、さらには社会に出て、よりよい人間関係を築きながら幸せな生活が送れるんじゃないかなとつくづく思います。今日、部活の子どもに声をかけてここにつれてきたんですけど、おそらく子どもたちは、こういう空間や時間を過ごすのは初めてだったと思います。ぜひ、帰ったあとですけど、部活の中でいろんな話をしながら今回の振り返りをして、学校生活の中で生かしてもらえるようにやっていきたいなと思っています。

和光中学校 教員 後半の『差別やいじめを考える』という作文を聞きながら、小学校6年生のとき、いじめたことやいじめられたことを思い出しました。みなさんどうですか。いじめられたことは鮮明に覚えています。いじめたことはほとんど忘れてしまっていま

す。いじめられていたときの朝、学校に行けなかったことを38年も前のことなのに覚えています。思い出せます。差別はいけない、いじめはいけないというのはとっても簡単ですが、みなさんは、ほんまに実践しているのでしょうか。されたことは一生覚えているけど、したことはすぐ忘れるじゃないかなと思いますながら聞いていました。今日は決意している人が多かったので挑発的に言いますが、「明日からほんまにそういう生き方できるのかな?」とえらそげに言って、終わりたいと思います。



パネリスト k ちょっとめちゃくちゃ、むちゃ振りを言うことになるんやけど、せっかく来てくれたんやし。axちゃん、なんかちょっとしゃべってみる?

香川県高校生 ax 昨年、おとしとここに来て、今年高校生になったんですけど、今回もここに来ました。私は高校で、こういう会がくれたらいいなっていうのを思っています。この前、高校で新しくできた友達と遊んでいて、その中で中学校の思い出とかしゃべっていたんですけど。友達の中にすごくいじめられていた子がいて。でも、いじめは子どもたち同士じゃなくて、親からも先生からも。友達全員バスケ部だったんですけど、その子もバスケ部で、部活の中でも、コーチからもいじめられていたらしくて。それで、中学校のときに、たぶん(いじめられていることが)言えなかったと思うんです。だから今、すごいこうやって語り合えていると思うん

で、私も今度高校で、こういうふうに分の辛かったことが言える場を、私も授業のとき辛かったことがあって、全部が全部こういう場で言えるわけではないけど、つくっていただけたいなと思いました。

パネリスト k むちゃ振りに応えてくれてありがとうございます。うちさっき、午前で話をしたあとに来てくれて、学校でこういう語り合いの場をつくらうとしていると聞いて。一から、何もないところからすっごくがんばってつくり上げようとしてて、自分も人権活動にしろ、人権活動ではないけど部活動にしろ、一から立ち上げるという経験はあったので、すごい同じにおいを感じたりとかあったんやけど。なんかたぶん、共通しているのはこういう場?今、みんなここにおるやん。感じるで?別のところでも広げていきたいという、めちゃくちゃ強い思いになっと思うんよ。たぶん、axちゃん以外にも。もしかしたら、ここに来て何かを感じてくれた人はおると思うけん、今回しゃべれなかった人も、何かしゃべれた人も、これで終わりじゃなく、何かこう、つなげていけたらとすごく思います。

司会者 まだまだ発表はあると思いますが、このあたりで全体会午後の部を終了したいと思います。みなさん、ご協力ありがとうございました。有意義な話し合いができたと思います。今日の話し合いをきっかけに人権問題をさらに深く考え、各学校に持ち帰ってください。

それでは、全体会午後の部を閉じることにします。ありがとうございました。それでは、この後引き続いて閉会行事にうつらせていただきたいと思います。暑さもありますので、水分をおとりください。また、準備ができるまでの間、しばらくお待ちください。